



## 感動できる小説の特徴について

山田, 芳

---

(Citation)

課題研究優秀ポスター, 2026:7

(Issue Date)

2026

(Resource Type)

conference poster

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100504977>



# 感動できる小説の特徴について

神戸大学附属中等教育学校 15回生 3233 名前山田芳

キーワード:小説、感動、共感

## 研究の目的

小説を読んだり、映画を鑑賞したりして感動したという経験は多くの人があるだろう。本研究ではその感動した理由を様々な視点から調査し、それを言語化しようと考えた。

本研究の目的は感動した小説から、なぜその作品は人に感動を与えたのかを考え、それを言語化することで理解を深め、今後の小説問題での要点を把握しやすくする。

## 先行研究

- ・感動する小説では、「転落」と「救い」の場面が重要である。過去の思い出と現実のギャップや、失われた相手との関係を想起させる描写、また男女視点の感情表現の違いが感動の要素になると考えられる。(黒田潤介 平成30年、29頁)
- ・物語を楽しむためには、登場人物への共感が重要であり、想像性は単に物語の好みだけを示すものではないと考えられる。(野村 弘平、赤井 誠生 平成23年、175頁)

## 研究方法

感動したと感じた小説(今回はあの花が咲く丘で、君とまた出会えたら)を、以下の3つの手段で調査した。

### ①主人公の感情の移り変わりのグラフ化

本文中から感情表現にあたる言葉を抜き出し、基準に基づいて、-5〜5の点をつけ、数値が小さいほど主人公の感情が暗く、マイナスに動いたとして、逆に数値が大きいほど主人公の感情が明るく、プラスに動いたとした。

### ②主人公と相手役の設定

主人公とその相手役の年齢、性別、出身、家族構成、家庭環境、経済状況、性格、職業(学生の場合は学生)口調から、感動することに深く関わりのある共感がどのように作用しているのかを考えた。

### ③ストーリー展開

本文を起承転結で分けた後、「泣かせどころ」となる部分を探して、起こった出来事からさらに細かくストーリーを分けていった。

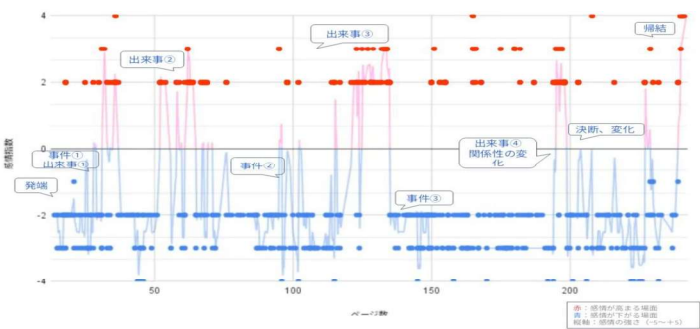
## 〈予想する結果〉

- ①主人公の感情が大きく動いたときに感動
- ②読者が身近に感じる設定
- ③ストーリーの起承転結

## 結果とまとめ

### ①主人公の感情の移り変わりのグラフ化

感情指数と ページ数



### ③ストーリー展開

発端:母と喧嘩し、家出先に子供の頃遊んでいた公園にある防空壕を選ぶ。

事件①:目覚めると60年前の戦時中の日本に来てしまった。

出来事①:特攻隊の彰に助けられ、「鶴屋食堂」で世話になる。

出来事②:彰と百合の咲く丘で交流を重ね、仲を深める。

事件②:百合の反戦的発言をきっかけに警官と衝突する。

出来事③:彰と甘味屋でかき氷を食べ、穏やかな時間を過ごす。

事件③:空襲で負傷し、戦争の惨さを痛感する。

出来事④:彰の隊が特攻命令を受け、彰も特攻する可能性が生まれる。

関係性の変化:彰への想いに気づき、特攻を止めようとする。

決断:彰を困らせないため、別れを決意する。

変化:彰の手紙を読み、見送りに行き百合の花を受け取る。

結核:現代に戻り母と和解し、自身の成長を感じる。

### ②主人公と相手役の設定

|    | 年齢  | 性別 | 出身地      | 家族構成  | 家庭環境    | 職業        | 性格                                   |
|----|-----|----|----------|-------|---------|-----------|--------------------------------------|
| 百合 | 14歳 | 女  | 埼玉県(映画版) | 母     | 母子家庭、不和 | 中学生→食堂の店員 | 周囲に反抗的だが共感力が高く優しい。感情的な面があり、葛藤することが多い |
| 彰  | 19歳 | 男  | 秋田県(映画版) | 母、父、妹 | 家族仲は良好  | 大学生→特攻隊   | 穏やかで責任感が強く優しい。理性的で、ゆるぎない覚悟を決めている     |

## まとめ

感動する小説には、登場人物の感情の起伏や人物関係を通して読者の共感を引き出す共通の表現要素がある可能性が示された。

## 考察

本研究では、感動する小説にはいくつかの共通した表現特性が存在する可能性が示された。特に、過去の幸福な記憶と現在の状況とのギャップや、登場人物の身近に感じられる設定が感動を生み出す要素であると考えた。これらの要素が組み合わさることで読者の共感を引き出し、感動につながる作品が形成されるのではないかと考えられた。

## 出展

- 黒田 潤介 (2018) 「大衆向け感動小説における表現特性」、平成29年度卒業論文、国語表現ゼミナール、大阪教育大学附属池田中学校・高等学校教員養成課程 国語教育専攻 (提出日:平成30年1月31日)。
- 野村 弘平・赤井 誠生 (2011) 「物語への共感－IRIのFS尺度の見直し－」、感情心理学研究 18巻3号、p.175-178、日本感情心理学会、DOI:10.4092/jare.18.175。
- 汐見 夏衛 (2016) 「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」集英社。